

近い国・韓国

12月2日（金）安室中学校で、国際理解の授業が実施され、1年生6クラス236名が参加しました。各クラスにそれぞれ韓国、中国、モンゴル、インドネシア、メキシコ出身の講師が招かれ、財団からは韓国出身の孫珠美さんを派遣しました。



韓国・釜山出身の孫さんですが、今では日本での暮らしの方が長くなったそうです。

はじめに、日本と韓国がいかに近いか紹介されました。飛行機に乗ると福岡から釜山までは1時間ほどで行くことができ、東京へ行くよりも速いことを聞いて、生徒たちはとても驚いていました。

その他には、韓国語のあいさつや自己紹介の言葉の紹介、表を使ってハングルの基本の勉強、韓国の食べ物や昔からある遊び道具の紹介などがありました。生徒たちからは、「その食べ物は知ってる!」、「韓国のコマはどうやって回すの?」など積極的な発言とさまざまな質問があり、にぎやかで楽しい講座となりました。



この講座が、世界に目を向け、海外の文化に興味を持つきっかけとなるとともに、日本や姫路の文化、自分自身の生活を改めて見つめる機会となることを願います。